



しあわせ みんなで築こう

No. 2

平成25年3月25日



昨年9月から「Dブロック実行委員会*」が進めてきた地域福祉活動の具体的な計画をご説明します。25年度は、町内会・自治会の役員改選に伴い、実行委員も何名かが交代になりますので、新たな体制下での地域福祉活動に入っていきます。この活動は28年度まで継続しますので、必要があれば方向修正も検討いたします。皆様のご意見とご協力をよろしくお願いいたします。

Dブロック実行委員会*: ひがし野町内会、ブランズシティ守谷自治会、サーパス守谷自治会の範囲をDブロックと言い、地域福祉活動計画(市民計画)の具体化を協議する組織。



<モットー>

楽しいお付き合いの輪をふくらまそう
活動の始まりはあいさつから

<目指すところ> 住みなれた地域で安心して住めるよう、お互い支え合うことができようになりたい。
<進め方の基本> (地域)に担当していただく計画が、過大な負担とならないよう、25年~28年間で、一歩ずつ着実に実行します。

□ 実行計画

(行政): 守谷市 (社協): 社会福祉協議会
(地域): ひがし野町内会、ブランズシティ守谷自治会、サーパス守谷自治会

関係づくり	<p>目標: 地域に合った情報を発信します。</p> <p>対策: 地域の情報共有、ひがし野まつり等行事への参加呼びかけのため、地域内団体間で連絡会議を行います。(地域)(25年度) ← (年度)は重点的に実施する時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会(自治会)役員・GES・老人会・子供会・防犯連絡員などから代表者出席。 ・Dブロック実行委員(ひがし野・ブランズシティ守谷・サーパス守谷の代表)がとりまとめ。 <p>ひがし野町内会では、HP(ホームページ)を活用します。(地域)(27年度)</p> <p>アパート住民との交流対策を行います。(地域)(27年度)</p>	
生活づくり	<p>目標: 地域の活動に、市民がより多く参加する機会をつくります。</p> <p>対策:</p> <p>あいさつから始めて、おつきあいのきっかけづくりをします。(地域)(25年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内では少なくとも会釈、できれば声を掛けて。守小のMVP(見守活動)との連携。 <p>役員会での意見交換を活発化します。(地域)(25年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全役員での討論よりは、小ブロックにすると討論が活発に。 <p>ボトムアップ型のイベント計画を行います。(地域)(26年度)</p>	
場づくり	<p>目標: 地域の結びつきを強める交流の場をつくります。</p> <p>対策:</p> <p>ひがし野地区の集会場所を確保します。(行政)(25~26年度)</p> <p>ボランティア組織の現状把握と新規立上げをバックアップします。(地域)(25年度) (詳細次ページ参照)</p>	
人づくり	<p>目標: 地域で活動できる人材を発掘します。</p> <p>対策:</p> <p>人材発掘 (25年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(社協)が調査計画を立て、(地域)が調査・登録促進に協力します。 <p>リーダ養成講座 (25年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(行政)が地域福祉を重点に市民大学を開催し、(地域)が住民に参加を勧めます。 	

□ 場づくりに関する詳細説明



▶ 集会場所の確保

確保対策①②③を行政に要望する。③④はその結果をもとに、行政と町内会間で対応を協議することになると考えています。

- ①市施設の利便性を高める。
 - ✓ 書類手続きの手間改善してほしい。
 - ✓ 鍵の引渡し手間を改善してほしい(北園保育所)。
 - ✓ 利用時間管理(申請時間オーバー)を緩和してほしい(保健センター)。
 - ✓ 飲食を可能にしてほしい(北園保育所)。
- ②多目的公共施設の建設を市に要請する。
 - ✓ マンション・アパートも考慮すると、ひがし野地区の人口増加が著しい上に、松並地区の開発も加わり、必要性が高くなっている。
- ③小規模集会所の建設の可能性を検討する。
- ④市の助成制度「空き家等活用コミュニティ推進事業」の利用が可能か検討する。

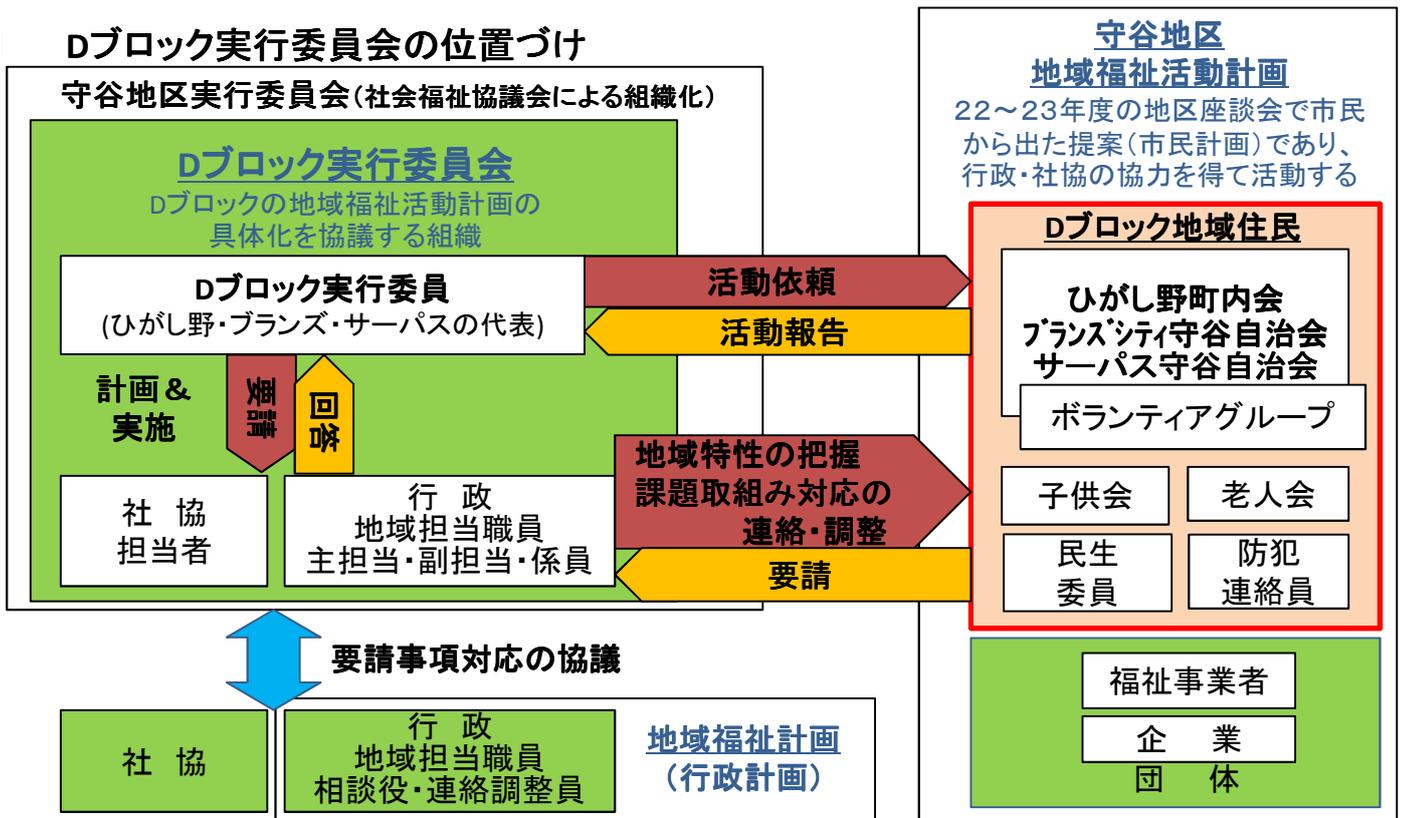
▶ ボランティアグループ新規立上げの事例:「ひがし野プレイパーク」ボランティアグループ

H24/12に、行政に市民提案型の協働事業として下記を説明し、H25/3に正式認見込み。H25/5から、月1回のプレイパーク開催予定。

- ①子どもが挑戦し、失敗しながら成長していける遊び場をつくる。
- ②「子どもにとっての自然の中での冒険遊びの重要性」を地域・社会に広める。
- ③子どもからお年寄りまで世代間交流を図り、子どもも大人も育ち合う場をつくる。

<役割> ボランティアグループ: 人材確保、プレイパーク運営
行政: 資金援助、土地の提供、公園使用許可 他

□ Dブロック実行委員会の位置づけ



<地域代表>

ひがし野

町内会長: 藤沢洋
民生委員: 斎藤万千男/阿部育子
互理達(実行委員会代表)

プランシティ守谷 自治会長: 西川仁洋(実行委員会代表)

サーパス守谷 自治会長: 山下太郎

Dブロック実行委員

守谷市役所(行政) 連絡調整員・主担当: 山中 毅

副担当: 柳葉賢二

係員: 塚原恭子/石毛修一

社会福祉協議会(社協): 高橋啓子